

# まちづくり評価（素案）検討シート

## 各班の検討状況

平成23年10月

まちづくり評価（素案）検討シート

A班

政策／指標	検討資料	素案	理由
1(1) コミュニティで支え合う特色ある地域づくり	横ばい	横ばい	全体的にボランティアの意識は高くなっているため。 個人ボランティアを支える人がもっと必要だと思われる。
1 自治会・町内会やボランティア活動など市民活動に参加することを心がけている市民の割合	横ばい	横ばい	震災を通じて市民の意識は高くなっている。 これを持続していくために、個人ボランティアを支える仕組み、窓口のPRなど、ボランティアをしやすい環境にしていく必要がある。
2 ボランティアセンター登録者数	横ばい	横ばい	指標の推移による。

まちづくり評価（素案）検討シート

A班

政策／指標	検討資料	素案	理由
1(2) 学び合い高め合って地域に活かす生涯学習	横ばい	順調	横ばいが2つ、順調が2つとなっているため。
3 知識や特技を地区活動や行事で発揮することを心がけている市民の割合	横ばい	順調	市民の意識は向上している状況にあると感じられるため。 実際の活動に結びついているか検証する必要がある。
4 自主学習グループ数（公民館登録）	順調	横ばい	前年に比べ数値は下がっているが、活動できる場所が増えたためであり、実際に活動している人は変わらないと考えられる。
5 自主学習グループ会員数（公民館登録）	横ばい	横ばい	団体数の減少に伴って人数も減少している。
6 生涯学習指導者、ボランティア登録者数	順調	順調	数値が順調に増えているため。

まちづくり評価（素案）検討シート

A班

政策／指標	検討資料	素案	理由
1(3) 地域で育み社会で支える子育て・子ども支援	順調	不調	2項目が順調ではあるが、指標No.9のように、実際の活動実績に繋がっていないと考えられるため。 今後に期待したい。
7 子育てを地域で支えあう雰囲気があると思う市民の割合	順調	順調	指標の推移による。
8 ファミリーサポートセンター 会員登録数	順調	順調	指標の推移による。 利用したいと考えている人は増えている。
9 ファミリーサポート事業利用 件数	横ばい	不調	目標値に届いていないため。 ただし、複数の要因が重なってこの数値になったと考えられる。

まちづくり評価（素案）検討シート

A班

政策／指標	検討資料	素案	理由
1(4) 次代を担う子どもの成長を支える学校教育	順調	順調	すべての指標を順調と評価したため。
10 子どもが地区でのびのびと育っていると思う市民の割合	順調	順調	指標の推移による。
11 耐用年数を超える学校数	順調	順調	耐用年数を超える学校が0になったため。
12 耐震基準を満たす学校数	順調	順調	すべての学校が耐震基準を満たしたため。

まちづくり評価（素案）検討シート

B班

政策／指標	検討資料	素案	理由
1(5) 子どもも大人も心と体の健康づくり	横ばい	不調	からだや心が健康だと思う市民の割合は横ばいだが、がん死亡率の増加などの実状から判断したため。
13 からだが健康だと思う市民の割合	横ばい	横ばい	指標の推移による。 ただし、年代別の調査・集計や、健康でないと思う人の割合（年度ごとの変化）も指標化すべきと考えられる。
14 心が健康だと思う市民の割合	横ばい	横ばい	指標の推移による。 ただし、健康でないと思う人の割合（年度ごとの変化）も指標化すべきと考えられる。
15 健康づくりサークル会員数	不調	※評価なし	健康づくりサークルは、健康づくり課所管以外でも、公民館、青少年ホーム等いろいろな場所にあると考えられる。したがって別の指標が必要。
16 がん死亡率（人口10万人対）	不調	不調	指標の推移による。 ただし、がんだけでなく、他の病気のデータも必要であり、それも指標にすべきと考えられる。
17 自殺死亡率（人口10万人対）	順調	順調	数値は順調だが全国の水準からすればまだまだである。

まちづくり評価（素案）検討シート

B班

政策／指標	検討資料	素案	理由
1(6) 地域で活躍する元気な高齢者	横ばい	不調	
18 高齢者人口に対する自立高齢者率	不調	不調	指標の推移による。すべりおちている感じがする。
19 自治会・町内会やボランティア活動など市民活動に参加することを心がけている市民（高齢者）の割合	横ばい	不調	目標値から離れてきている。また、基準値よりも低下しているため。実際に参加している人のデータも必要。また、ボランティア活動をしている人の中で60才以上の人数も必要なのではないか。
20 シルバー人材センターの登録会員数	横ばい	横ばい	職種にもよるが、登録しても仕事がない人もいるため、登録をやめていく人もふえている。頼んでもなかなか来てくれない仕事もある。H10～H18に比べて人数が減っている。
21 シルバー人材センターの就業延人員	横ばい	横ばい	指標の推移による。

まちづくり評価（素案）検討シート

B班

政策／指標	検討資料	素案	理由
1(7) 地域で社会で自立する障害者	順調	横ばい	指標によっては目標を達成しているように見えるが目標値の設定が低かったものもあると考えられるため。
22 障害者計画に基づき入所施設から地域生活へ移行する人数	順調	順調	目標を達成しつつあるため。
23 事業所における障害者雇用率	順調	順調	目標を達成しつつあるため。
24 障害を持つ人も社会参加できる環境が整っていると思う市民の割合	順調	横ばい	20年度が最高で、その後はそこまでいっていないため。
25 手話サークル登録者数（ボランティアセンター）	不調	不調	20、21年に対し半数近くに減少しているため。 手話以外の支援グループがあるとすればそれも指標に加える必要があると考えられる。
(2) ボランティアセンター登録者数	横ばい	不調	個人登録者数を加えても目標値にはほど遠いため。
26 公共施設等のバリアフリー化の6項目クリア率	順調	順調	指標の推移による。 ただし、県平均13.1%（H19年度）に対して目標値が低すぎるのではないかと考えられる。



まちづくり評価（素案）検討シート

C班

政策／指標	検討資料	素案	理由
1(8) ふるさとの誇りを受け継ぐ文化・芸術	横ばい	横ばい	指標の評価に横ばいが多いため。
27 地区の祭りや七夕・民俗芸能などへ参加を心がけている市民の割合	横ばい	横ばい	指標の推移による。
(4) 自主学習グループ数（公民館登録）	順調	横ばい	一旦上がったものの現在は下がっている。H19から見て目標数値に近づきつつあるが、ほぼ横ばいのため。
(5) 自主学習グループ会員数（公民館登録）	横ばい	不調	指標の推移による。高齢化等により個々のグループの会員数が減っている。
28 能代市民俗芸能連合会加盟団体数	横ばい	横ばい	地区ごとに団体は数多くあるものの、5年間数値が変わっていないため。
29 文化財保護協会の会員数	不調	横ばい	二ツ井地域は22名から27名にふえている。目標としている150とは。
30 檜山歴史ガイドの会会員数	順調	順調	指標の推移による。（講座6回受講でOK）

まちづくり評価（素案）検討シート

C班

政策／指標	検討資料	素案	理由
1(9) だれもが気軽に楽しめるスポーツ	順調	順調	指標の評価に順調が多いため。
31 スポーツに親しんでいる市民（週一回以上）の割合	順調	順調	指標の推移による。
32 優良競技者・団体表彰数（栄光賞）	順調	順調	指標の推移による。
33 スポーツ少年団認定指導者数	順調	順調	子どもの数が減っている。実質的な数はもっと低いと考えられる。
34 バスケットの街を他に誇れると思う市民の割合	不調	不調	指標の推移による。 能代工業バスケット部の勝敗に左右されているため。

まちづくり評価（素案）検討シート

C班

政策／指標	検討資料	素案	理由
1(10) 認め合い支え合う社会づくり	順調	順調	指標の評価を順調としたため。
35 一人ひとりの個性や能力を發揮できる地域になっていると思う市民の割合	順調	順調	指標の推移による。

まちづくり評価（素案）検討シート

D班

政策／指標	検討資料	素案	理由
2(1) 環境を核とした活力ある産業創出	不調	横ばい	船舶の港の利用が平成21年度くらいまで回復していることによる。
36 資源リサイクル関連新設・増設企業数	横ばい	横ばい	ふえているが、目標にとどいていないため。
37 地域の資源を活用した商品や製品を利用することを心がけている市民の割合	不調	不調	市民の意識が低下しているため。
38 能代港の外港・内港商船入港船舶数（能代火力発電所専用棧橋を除く）	不調	横ばい	昨年に比べ21年度の数値に回復してきているため。
39 能代港の貨物量（能代火力発電所専用棧橋を除く）	不調	横ばい	昨年に比べ回復傾向にあることから。

まちづくり評価（素案）検討シート

D班

政策／指標	検討資料	素案	理由
2(2) 雇用を産み出す企業立地	順調※	横ばい	新設企業が増加している事を評価して今後に期待。
40 新設・増設企業数（リサイクル関連企業数を含む）	順調	順調	新設企業数が目標にはとどいていないが、指標の上昇カーブに近づいている。
41 有効求人倍率	順調※	不調	全体的な数値が低いと判断したため。
42 新規高卒者の就職内定率	順調※	不調	内定率は目標に近いが率より人数が重要であると判断したため。

◎募集の実数（何人か）  
 高校生の何割が市内就職か

まちづくり評価（素案）検討シート

D班

政策／指標	検討資料	素案	理由
2(3) 力強くて持続する農業	順調	横ばい	良いきざしはあるが、魅力的な農業になっていないため。
43 野菜作付面積	—	※評価なし	指標の数値がないため。
44 担い手農地集積率（個人・集団を含む）	横ばい	横ばい	指標の推移による。全体として上昇傾向にあるものの、大きな変化はない。
45 地元産の農産物は安全でおいしいと思う市民の割合	順調	順調	指標の推移による。本年度の数値が大きく上昇しているが原発問題の影響も考えられる。
46 学校給食で使用している野菜類のうち秋田県産の割合	順調	順調	指標の推移による。上昇傾向にあり、目標値もクリアしているため。

まちづくり評価（素案）検討シート

D班

政策／指標	検討資料	素案	理由
2(4) 山・川を生かす 林業・木材産業・水産業	不調	不調	指標の評価に不調が多いため。
47 木材製品出荷額	不調	不調	指標の推移による。 出荷額が大きく減少している。
48 木のぬくもりや木のまちとしての 雰囲気があると思う市民の割合	横ばい	横ばい	H19から大きく変化がないため。
49 木の学校利用者数	不調	不調	機械の老朽化に伴い利用者数が減っていると見られるため。
50 共同研究等（委託を含む）で実際に 商品化できた件数	順調	順調	指標の推移による。 目標にはとどいていないが指標は上昇傾向にある。
51 松くい虫被害量	不調	不調	指標の推移による。 被害量が増加傾向にある。
52 漁獲高（海）	不調	不調	指標の推移による。 漁獲高が全体的に減少傾向にある。

まちづくり評価（素案）検討シート

E班

政策／指標	検討資料	素案	理由
2(5) まちのにぎわいをつくり出す商業	横ばい	横ばい	振興券の利用で、地元の商店を利用する傾向が見えてきていると感じられることから。
53 地元商店街や近所の商店を利用することを心がけている市民の割合	横ばい	横ばい	振興券の利用で前よりは地元経済がよくなっていると感じられるものの、地元は店が開いていないときがあったり、能代は品薄だ等の理由で、若者が休日を利用して都市部へ行きたがっていると思われるため。
54 商店街の空き店舗率	不調	不調	空き店舗が増えていて、活用が追いついていないため。



まちづくり評価（素案）検討シート

E班

政策／指標	検討資料	素案	理由
2(6) 豊かな自然とその恵みを活かす観光	横ばい	横ばい	意識を高めようとする試みがある。 年齢によって観光ルートが違っていることがあげられる。
55 観光客入込客数	順調	順調	花火、おなごり、役七夕、きみまち二ツ井マラソン等イベントへの観光客が増えてきている。 小さな取組みが観光客増につながってきている。
56 豊かな自然や特色ある郷土料理など、他に誇れる観光資源があると思う市民の割合	横ばい	横ばい	豊かな自然がたくさんあり素晴らしいと思っている人はいるが、PR不足である。 グループ団体の活動が盛んになってきている。 きりたんぼ、だまこ鍋に誇りはもっている。

まちづくり評価（素案）検討シート

E班

政策／指標	検討資料	素案	理由
2(7) 自然と共生し地域で支える環境保全	横ばい	横ばい	市民の関心が高まってきており、利用する人も多くなってきているが、環境活動はもっと多くの市民が協力したほうが良いと判断したため。
57 米代川やきみまち阪、風の松原などの豊かな自然は、他に誇れると思う市民の割合	横ばい	横ばい	きみまち阪や風の松原は利用する人が多くなってきているがまだまだPR不足である。
58 環境自治体スタンダード（LAS-E）の合格ステージ	横ばい	横ばい	指標の推移による。行政中心の取り組み。

まちづくり評価（素案）検討シート

E班

政策／指標	検討資料	素案	理由
2(8) 資源を大切に し社会を持続 できる衛生環 境	横ばい	横ばい	市民の意識は高いが、分別の種類が増え、複雑 になったため数値が下がったと考えられるため。
59 1人1日あたり ごみ排出量	順調	順調	わずかではあるが、下がってきているため。
60 限りある資源を 大切にするた め、紙類などを 資源ごみに分別 することを心が けている市民の 割合	横ばい	横ばい	市民の意識は高いと思われるが、総合計画策定 時に比べ分別の種類が増えたこともあり、数値は 下がっているが横ばいだと感じられる。 アンケートの文章表現が悪いと考えられる。

まちづくり評価（素案）検討シート

F 班

政策／指標	検討資料	素案	理 由
3(1) 安全な暮らしを守る防災・防犯体制	順調	順調	指標の評価に順調が多いため。
61 災害などもしもの場合に普段から備えることを心がけている市民の割合	順調	順調	指標の推移による。 順調な要因としては、東日本大震災の影響による部分もあると考えられる。
62 防災訓練参加者数	順調	順調	指標の推移による。 順調な要因としては、東北地区水防訓練の実施による部分もあると考えられる。
63 消防団員の定員の充足率	不調	横ばい	定員の減少により充足率が上がっているのではないかと。(88.6%) 更に職域(事業所)も加入できることもある。
64 がけ地近接等の危険住宅の戸数	横ばい	横ばい	指標の推移による。 支援制度のPRが必要。 危険住宅であることを知らせる。
65 能代警察署管内の交通事故死者数	順調	順調	指標の推移による。 0をめざしたい。
66 能代警察署管内の犯罪件数	順調	順調	指標の推移による。 自主防犯等が必要と考えられる。

まちづくり評価（素案）検討シート

F 班

政策／指標	検討資料	素案	理由
3(2) 機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク	順調	横ばい	4つの指標のうち、2つは順調だが、1つは横ばい、1つは不調であることから、全体として横ばいと判断した。
67 道路の整備延長（改良率）	順調	順調	指標の推移による。 現状にあった目標値を設定すべきと考えられる。
68 道路の整備延長（舗装率）	順調	順調	指標の推移による。 現状にあった数値を設定すべきと考えられる。
69 除排雪や清掃活動など、近所や自治会・町内会などで協力しあう体制が整っていると思う市民の割合	順調	横ばい	目標値に達していないため。 町内の協力体制は整っている。 その年の積雪状況によって数値も変化する。
70 巡回バスの1便平均利用者数	不調	不調	指標の推移による。 利用年代の人口減もあるのではないかと。また、巡回バスの目的が変わってきているのではないかと。

まちづくり評価（素案）検討シート

F 班

政策／指標	検討資料	素案	理 由
3(3) 効果的で調和のとれた土地利用	不調	不調	指標の評価を不調としたため。
71 中心市街地活性化重点区域の空き店舗率	不調	不調	指標の推移による。 時代の流れで、中心市街地に住む人がいなくなったのでは。 まちなかにスーパー（食品）がなくなった。

まちづくり評価（素案）検討シート

F 班

政策／指標	検討資料	素案	理由
3(4) 快適で暮らしやすい住環境	順調	順調	すべての指標を順調としたため。
72 水道普及率	順調	順調	常盤(北東部)地区が完了したことによる。
73 汚水処理人口普及率	横ばい	順調	東能代、向能代地区が計画通りに進んでいることから。
74 飲用水の確保や生活排水の処理など、衛生的な生活環境は維持されていると思う市民の割合	順調	順調	指標の推移による。
75 ブロードバンド世帯カバー率	順調	順調	指標の推移による。 光回線が目標に。

まちづくり評価（素案）検討シート

G班

政策／指標	検討資料	素案	理由
3(5) 安心でき健康を保てる医療体制	不調	不調	「不調」という評価がひとつでもあれば、それ以上の評価ができないと判断した為。
76 身近なかかりつけ医を持っている市民の割合	不調	不調	言葉の定義を含めて広告（PR）が必要。そのことが「地域医療体制の再構築」にもつながる。
77 身近なかかりつけ薬局を持っている市民の割合	横ばい	横ばい	言葉の定義を含めて広告（PR）が必要。そのことが「地域医療体制の再構築」にもつながる。



まちづくり評価（素案）検討シート

G班

政策／指標	検討資料	素案	理由
3(6) 不安のない生活を支える社会保障制度	順調	横ばい	政策を評価するにはデータが少ないが「順調」があるので全体として「横ばい」とする。
78 要介護2～5に対する介護三施設等利用者の割合	順調	※評価なし	この指標が在宅介護の推進という大前提に近づいているかを判断するデータとは言えないと考えたため。 ※認定数が増えているが利用者が変わらない。  (施設は増えていない)
79 介護三施設と地域密着型特養の利用者に対する要介護4・5の割合	順調	順調	介護度の高い人が利用しているということになるため。

まちづくり評価（素案）検討シート

G班

政策／指標	検討資料	素案	理由
3(7) 効率的で住民サービスに資する行財政基盤	順調	横ばい	順調が2つ、不調が2つ、横ばいが3つとなっているため。
80 市職員は日頃仕事をよくやっていると市民の割合	順調	順調	指標の推移による。
81 職員適正化計画に基づく職員数	順調	順調	能代商業高等学校の職員も含まれているため、数値的にはみえないが、目標に向かっている。
82 市税の収納率（現年度分）個人市民税	横ばい	横ばい	目標には届いてないが、下がっているわけではないため。
83 市税の収納率（現年度分）法人市民税	横ばい	横ばい	目標には届いてないが、下がっているわけではないため。
84 市税の収納率（現年度分）固定資産税	不調	不調	数値的には、大きな変化はないが、目標から遠ざかっているため。
85 市税の収納率（現年度分）軽自動車税	不調	不調	数値的には、大きな変化はないが、目標から遠ざかっているため。
86 市の財政状況などについて情報提供が行われていると思う市民の割合	順調	横ばい	目標値から離れているため。ただし、意識調査の数値が実態とかけ離れているように感じられる。